

Tagajo Comprehensive Plan

第六次多賀城市総合計画

後期計画方向性について



多賀城市 企画経営部 企画課

2024.10.11



目次

01 多賀城市の特性

03 総合計画のポイント

05 審議委員の皆様へお願いしたいこと

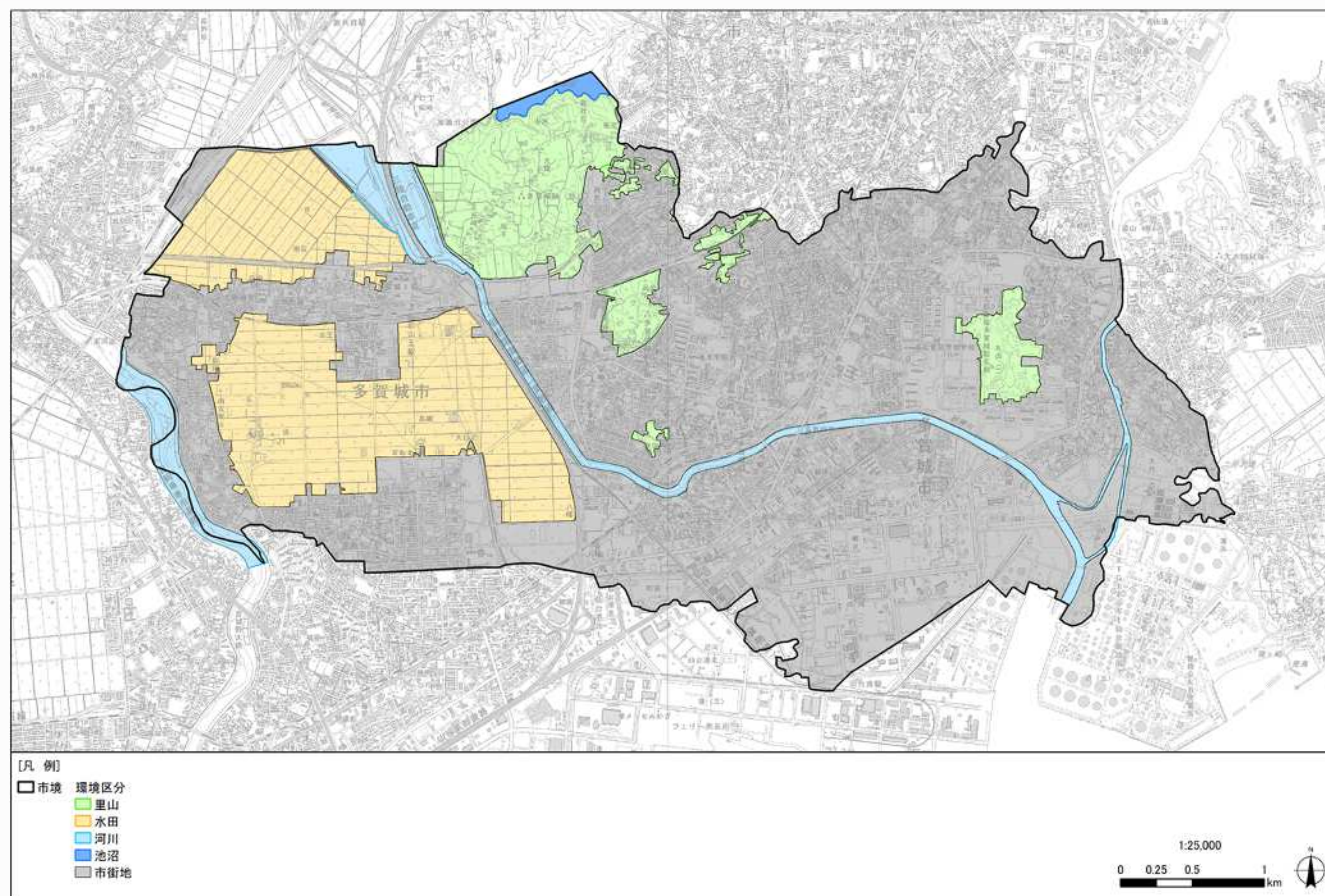
02 総合計画の構成・内容

04 後期計画の方向性

06 今後のスケジュール

01

多賀城市の特性



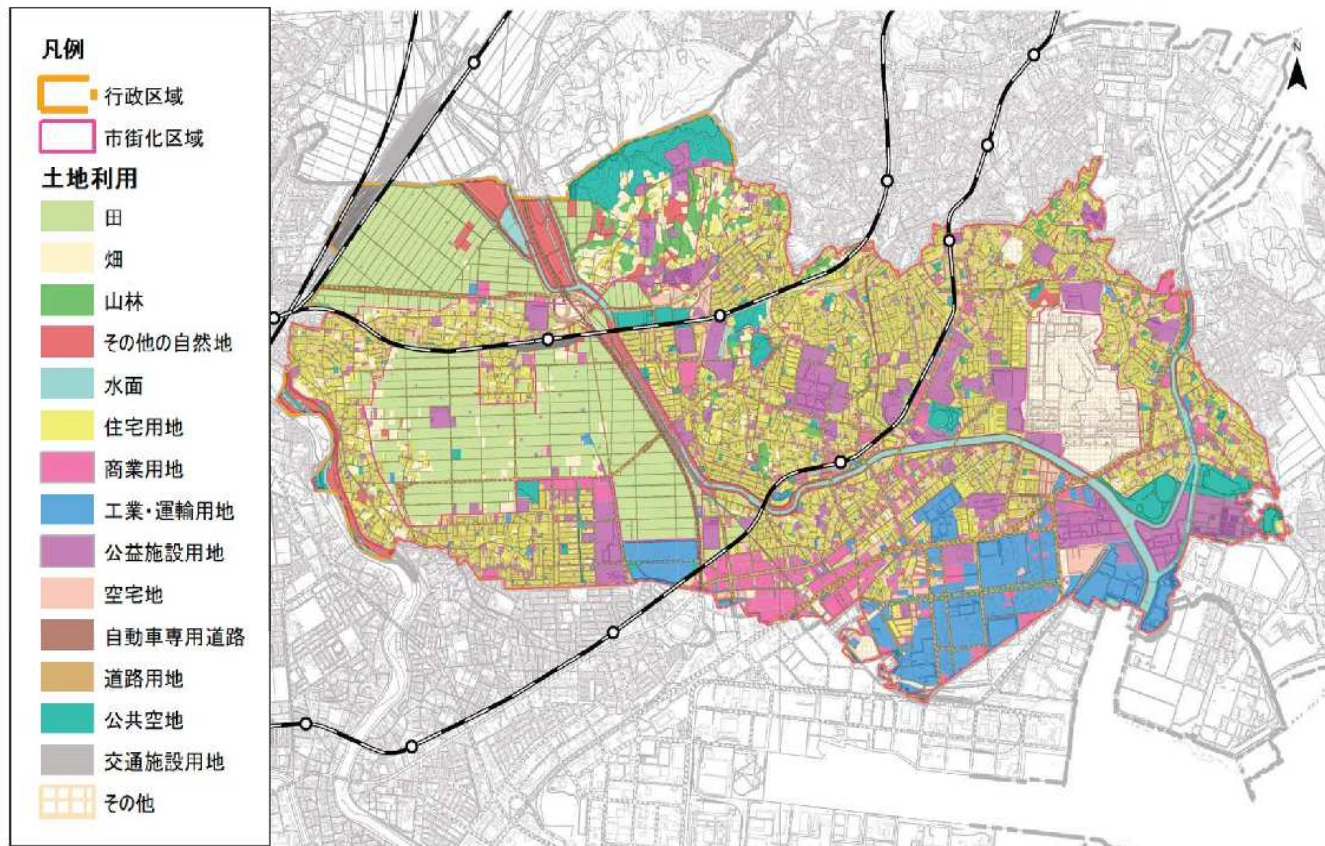
自然的特性

- 宮城県の東部に位置
- 市域面積 19.69平方キロメートル
- 西部地域には水田が広がり、中央から東側にかけて住宅地が密集し、北側には緑豊かな環境が残存しています。そのほとんどは史跡群と一体となって保全されてきたもので、市を特徴づける歴史的風致を形成しています。

01

多賀城市の特性

【土地利用現況図】

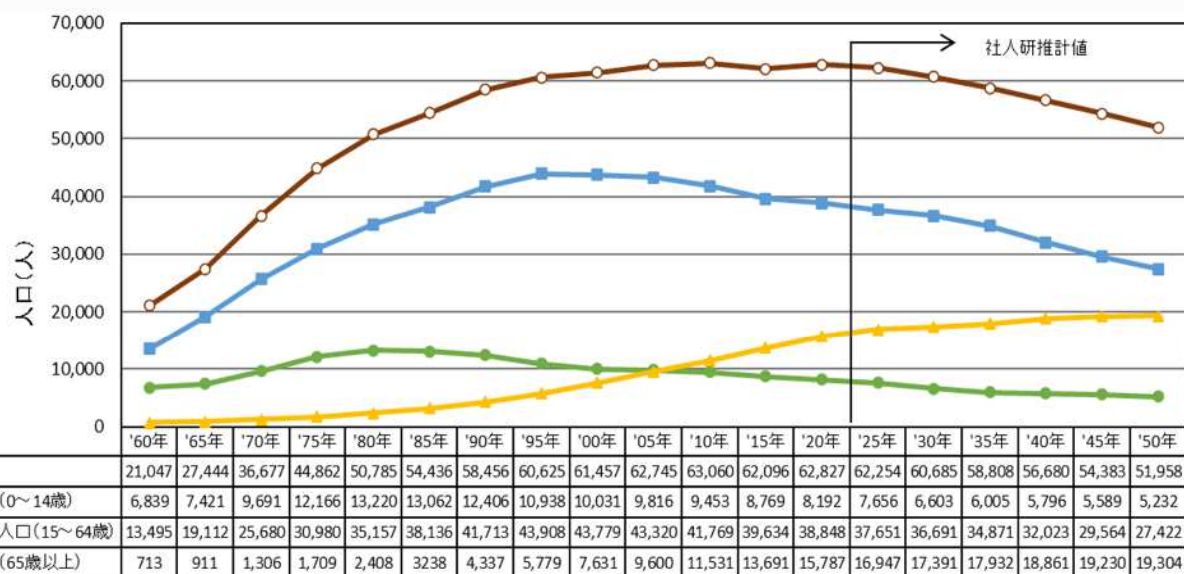


経済的特性

- 多賀城駅周辺は商業施設や周辺に宅地が多いことから、人の往来が多くあります。
- 西部地域は田んぼが多い地域ですが、近年宅地開発が進み、人口が増加しています。
- 東部地域は宅地が多い地域ではありますが、未利用地が少なく、他地域に比べ開発の動きは少ない状況です。
- 工場地帯が形成されている仙台塩釜港の隣接地域は、東日本大震災以降、製造業から流通業に主流が変わってきています。

01

多賀城市の特性



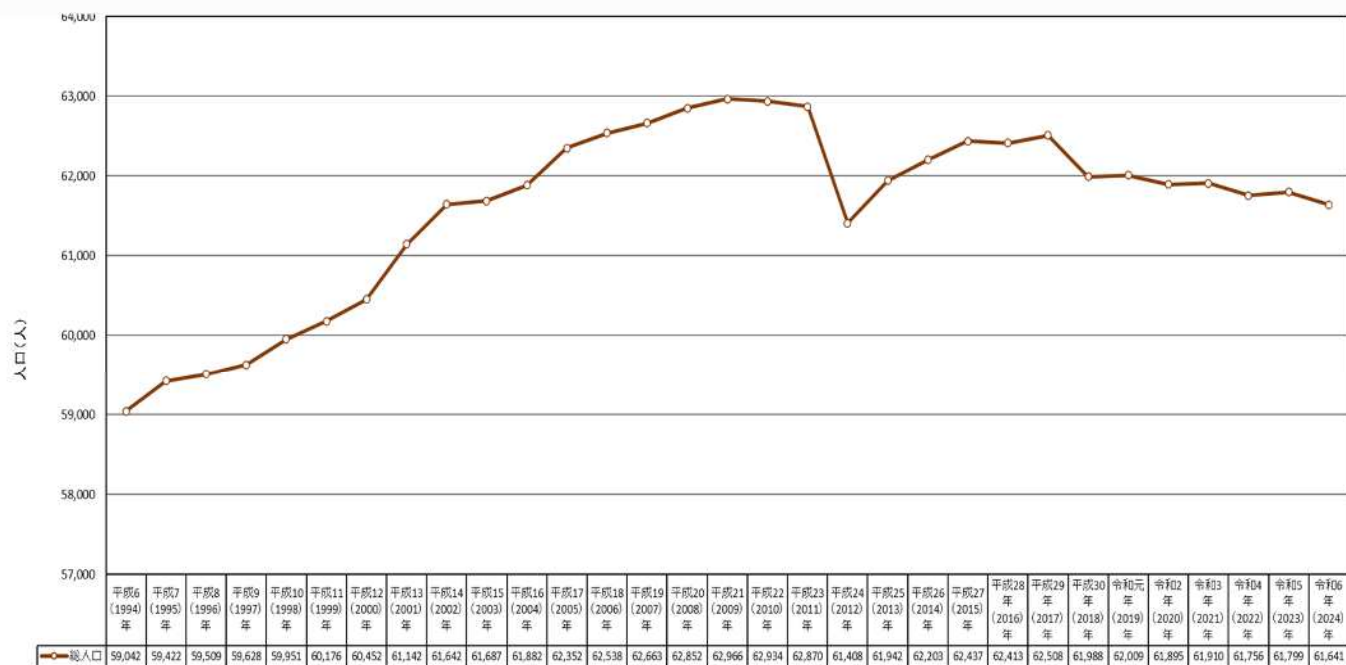
人口動向

傾向としては全国と同様に人口減少・少子高齢化が進んでおり、今度も進むと予測されます。

※本データは「国立社会保障・人口問題研究所」が令和5年12月に公表しているデータを記載しております。本データの推計値は、予測する際に過去の人口動態をベースに推計しているもので、2011年の東日本大震災時の動態も含んでいるため、予測値が大幅に減少しているものです。

01

多賀城市の特性



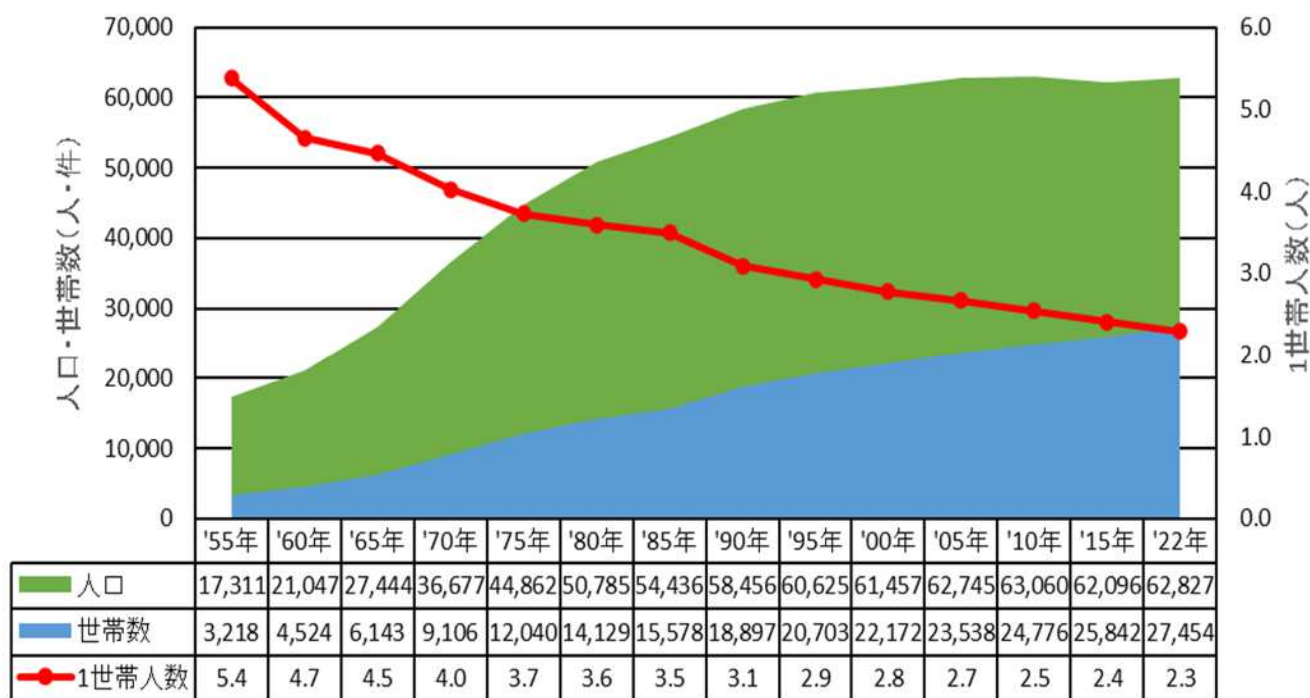
人口動向（年ごと）

本市のこれまでの人口の推移を現したグラフです。平成21（2009）年をピークに近年は減少しています。

※本データは住民基本台帳のデータを基に作成しているため、統計調査のデータとは一部異なります。

01

多賀城市の特性

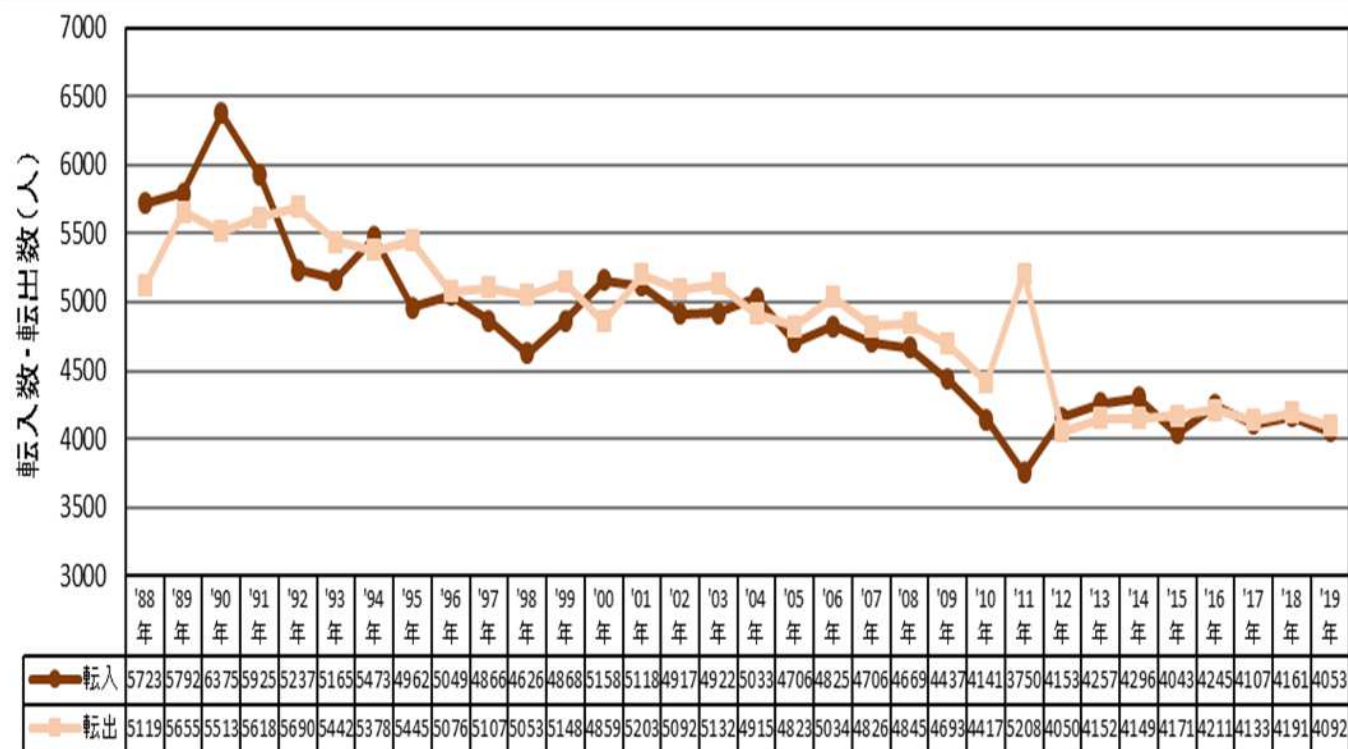


人口動向

世帯数は増加傾向で一世帯当たりの人数は年々減少傾向で、核家族・単身世帯が増加しています。

01

多賀城市の特性



人口動向

人口移動については年々縮小傾向ですが、県内他市町村と比べると人口移動は多い傾向です。

01

多賀城市の特性

他市比較で見る多賀城市の財政状況

令和5年度決算における主要指標の県内市比較(仙台市除く。)

No	団体名	標準財政規模 ①	財政調整基金 ②	積立金 現在高比率 ②/① (高いと良い)	順位	地方債現在高 (高いと悪い)	順位	経常収支比率 (高いと悪い)	順位
1	石巻市	40,021,657	8,141,029	0.20	2	70,945,482	2	100.9	4
2	塩竈市	12,655,908	1,951,693	0.15	11	17,223,099	8	98.3	7
3	気仙沼市	18,436,041	9,710,133	0.53	1	30,194,126	5	103.9	1
4	白石市	9,811,674	2,686,974	0.27	10	10,858,996	12	92.9	13
5	名取市	17,450,976	4,020,362	0.23	8	29,074,528	6	99.2	5
6	角田市	8,375,811	1,668,747	0.20	12	16,154,848	9	98.7	6
7	多賀城市	13,289,903	4,030,491	0.30	7	21,583,429	7	102.8	2
8	岩沼市	10,142,412	3,779,882	0.37	9	11,367,591	11	102.4	3
9	登米市	26,590,234	4,428,632	0.17	6	45,766,732	3	96.8	9
10	栗原市	26,923,606	7,033,206	0.26	3	40,776,470	4	97.9	8
11	東松島市	10,349,472	1,124,511	0.11	13	14,104,812	10	93.2	12
12	大崎市	37,367,350	5,112,261	0.14	4	76,478,718	1	96.8	9
13	富谷市	10,277,514	4,693,198	0.46	5	6,588,337	13	94.4	11

・経常収支比率については、県内及び全国規模で見ても、ワーストクラス。

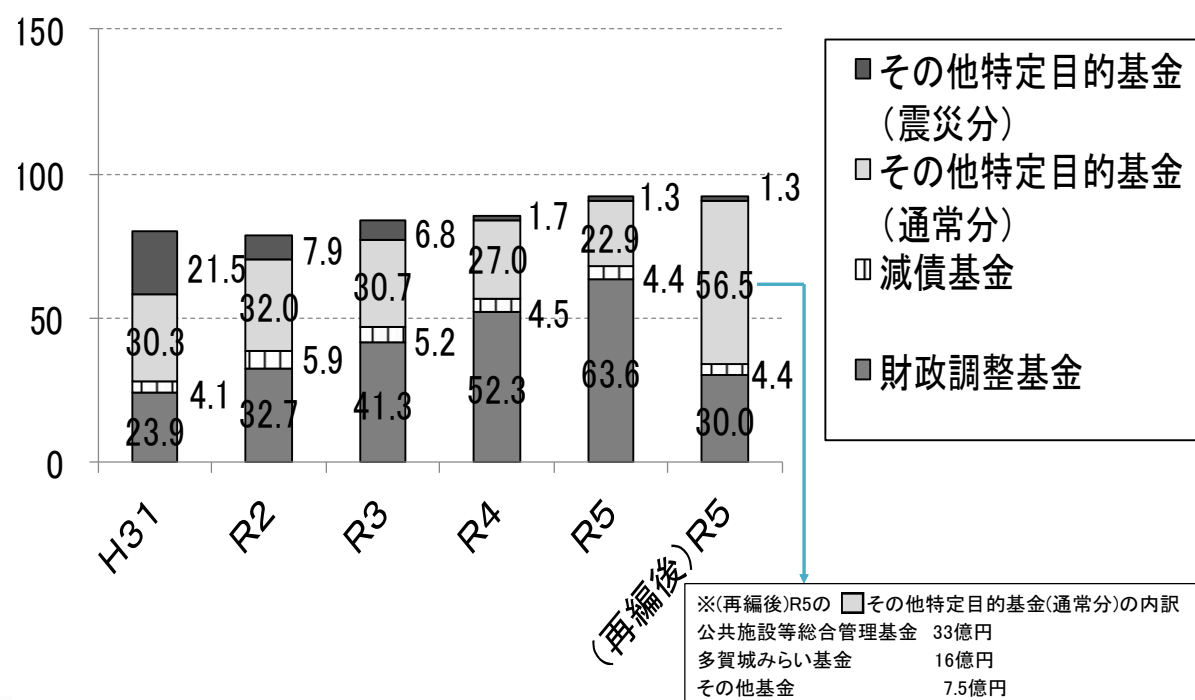
・一般的に経常収支比率が高いと、財政構造上の弾力性が損なわれとされており、政策的経費や臨時的経費が抑制されます。

・本市も多分に漏れず、老朽化した公共施設や都市インフラへの対策が必要となります。そのため、基金の再編をおこない、新たに公共施設等総合管理基金を造成しました。

01

多賀城市の特性

基金残高（単位：億円）



基金の再編に伴う公共施設等総合管理基金への積替えにより

令和6年度財政調整基金残高は**21.5億円**となりました。

また、持続可能なまちづくりに向けて、「史跡のふるさと応援基金」を再編し、「多賀城みらい基金」に積み替えをしました。

02

総合計画の構成

基本構想

基本計画
(施策・基本事業)

実施計画
(事務事業)

将来都市像とまちづくりの方向性

計画期間：10年間

令和3（2021）年度～令和12（2030）年度

分野ごとの目指す姿と目標

計画期間：5年間（前期・後期）

基本計画の目標実現のための方向性

計画期間：原則3年間

※毎年度ローリング

02

総合計画の構成

第六次多賀城市総合計画将来都市像メインフレーズ

日々のよろこびふくらむまち 史都 多賀城

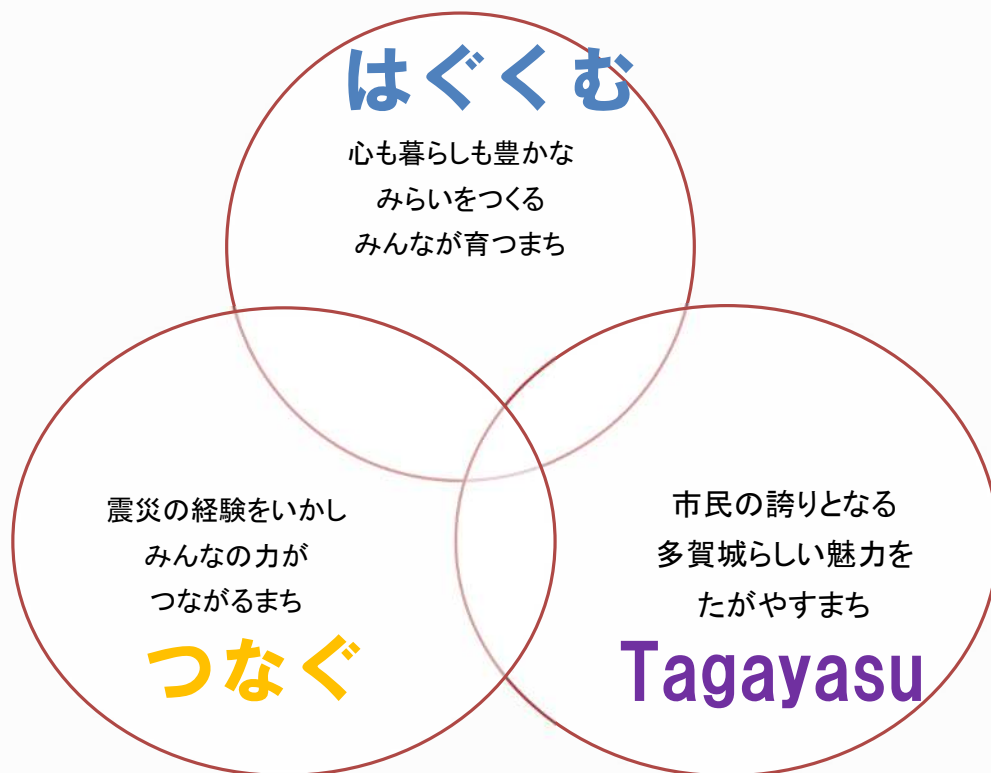
- ▶自然、歴史、文化、そして温かな人の輪に囲まれ、何気ない日々の中に、多賀城ならではの心豊かな喜びや幸せが感じられる、そんな暮らしを送ることのできる未来の多賀城を、私たちはみんなで協力し合って創ります。



02

総合計画の構成

第六次総合計画 重点テーマ



「はぐくむ」
心も暮らしも豊かな未来をつくるみんなが育つまち

「つなぐ」
震災の経験をいかしみんなの力がつながるまち

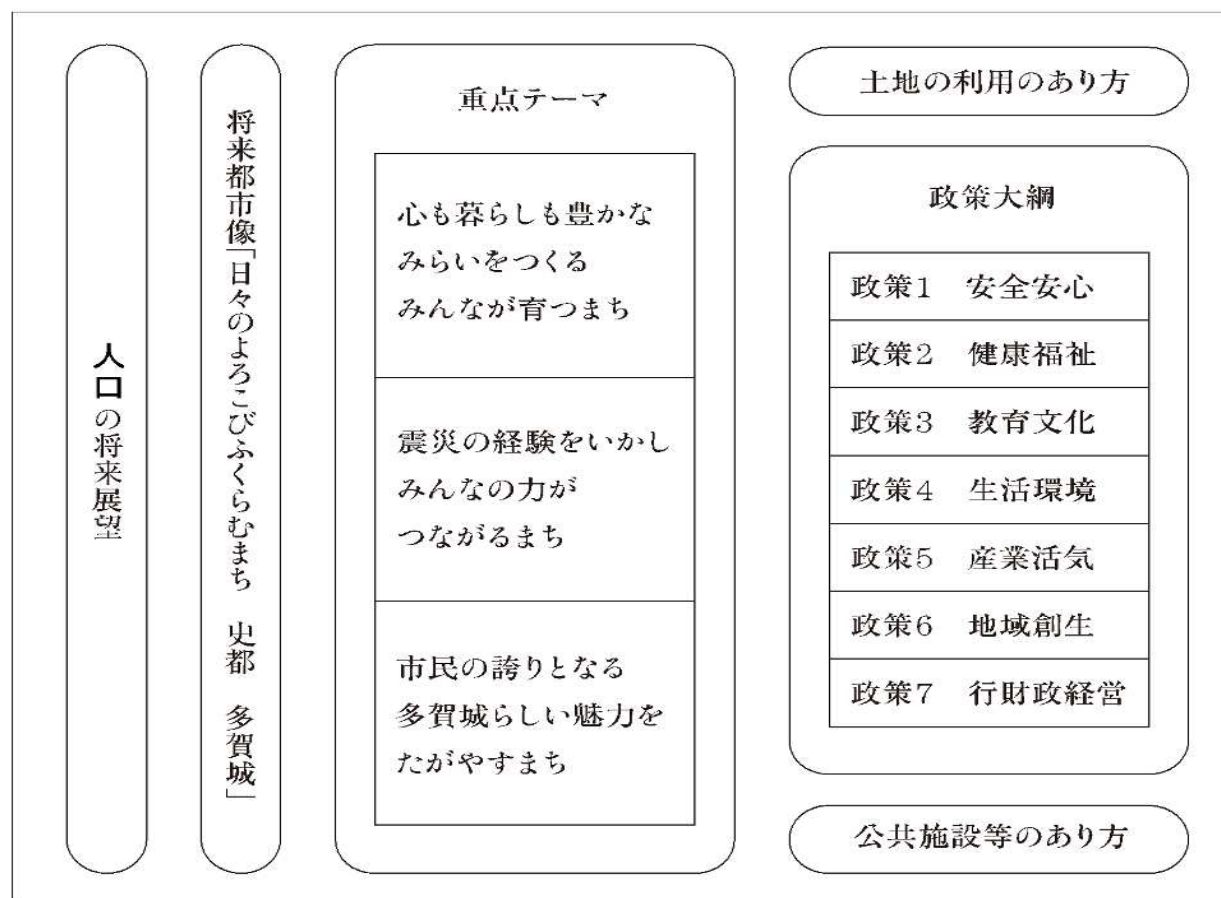
「Tagayasu」
市民の誇りとなる多賀城らしい魅力をたがやすまち

02

総合計画の構成

基本構想の構成

総合計画を策定上で基礎となる基本構想の構成について右のとおりです。



02

総合計画の構成

政策体系・政策大綱

総合計画中有る政策大綱となります。それぞれの分野の政策です。政策以下の施策や個別目標などについて事前に配布しております「第六次多賀城市総合計画前期計画」を参照いただければと思います。

政策 1

- みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり（安全安心）

政策 2

- 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり（健康福祉）

政策 3

- 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり（教育文化）

政策 4

- 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり（生活環境）

政策 5

- 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり（産業活気）

政策 6

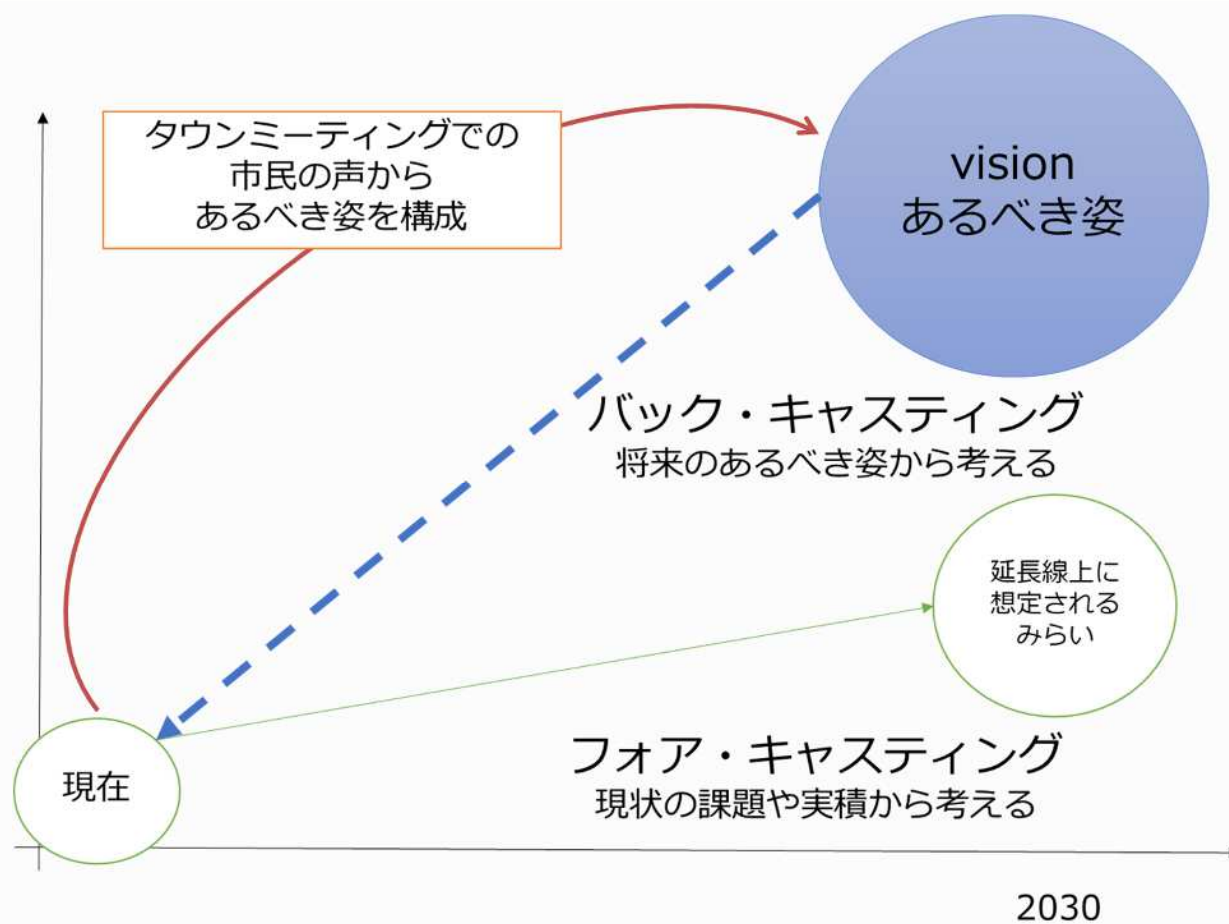
- 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり（地域創生）

政策 7

- 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営（行財政経営）

03

総合計画のポイント



総合計画を策定する際に、政策形成に係る思考手法として、バック・キャストを用いました。市民からタウンミーティングで様々な方から声を集め、市のあるべき姿を定めそこから手法を考えていく形をとりました。

策定背景となる社会情勢

策定に当たっては、右のような昨今の社会環境の変化や、本市が直面している課題に配慮しました。

- 縮充社会の到来 ※1
- 地方分権の進展
- 新しい人の流れの創出
- 発生する災害と人命を守るための備え
- 老朽化が進む施設・都市インフラ ※2
- 文化財の利活用 ※3
- 新しい時代の流れ

03

総合計画のポイント

縮充社会の到来 ※1



縮充する日本「参加」が創り出す人口減少社会の希望

(山崎亮著)※本の解説から

人口増加と経済成長を前提としたモデルが機能しなくなった日本。人口や税収が縮小しながらも、地域の営みや住民の生活が充実したものになる仕組みを編み出さなければならない時期を我々は迎えている。さまざまな対策が議論されているが、そうした「縮小」を「縮充」へと導く唯一の解が「参加」である。

工夫と参加で

地域の営みや
住民の生活が充実

充
実

第六次多賀城市総合計画基本構想から抜粋 ＜政策7＞縮減社会への対応 持続可能な行財政経営

縮減社会を迎え、資源がより限られていく中でも、将来都市像実現に向けたまちづくりを着実に進めるとともに、拡大成長を前提とした量的充足という考え方から、社会経済が縮小したとしても市民の暮らしの充実と質的向上を目指す「縮充」という考え方へ移行し、効果的で効率的な行財政経営を進めます。

また、めまぐるしく変化する社会環境と、多様化する行政課題に、市民からの理解と信頼のもとで、迅速・適切に対応できる人材育成と体制づくりを進めます。

03 総合計画のポイント

老朽化が進む施設・都市インフラ ※2

戦後の復興期から高度経済成長期、さらには昭和60年代のバブル経済崩壊後の経済対策を通じて公共施設等の整備が集中的に行われ、これらの施設は一斉に更新時期を迎えました。

また、少子高齢化の進行により、税収の減収や社会保障費の増大が見込まれる中、今後の市の財政はより効率的な運営が必要とされ、施設の長寿命化や集約・複合化等対策が求められています。



〈中央自動車道笹子トンネル天井崩落事故の様子〉

03 総合計画のポイント

文化財の利活用※3

多賀城市では、かつて8世紀中頃に実在していた多賀城南門を令和7年4月公開に向け復元工事を実施しています。

また、令和6年8月27日付けで官報に告示され、多賀城碑が国宝に指定されました。

こうした歴史的に貴重な文化財を利活用し、本市への交流人口の増加を目指しています。

キーワード：アイデンティティ、シビックプライド、都市の個性、文化創造都市



〈多賀城南門復元の様子〉

03

総合計画のポイント

- 縮充社会の到来 ※1
- 地方分権の進展
- 新しい人の流れの創出
- 発生する災害と人命を守るための備え
- 老朽化が進む施設・都市インフラ ※2
- 文化財の利活用 ※3
- 新しい時代の流れ

人口減少、少子高齢化が進み、市税等の収入が減る一方で、公共施設やインフラの老朽化に莫大な費用がかかり、社会保障費（医療・介護・子育て等）についても年々増加しています。行政資源は限りがあります。まちの活力をどのように醸成するか、地域活性化・地域創生をどのようにして叶えるか見直ししていく必要があります。



地域・個人が主役・主体的となるまちづくり
行政活動のパラダイムシフト

04

後期計画の方向性について



第六次多賀城市総合計画後期計画策定の流れについて

総合計画策定にあたっては、総合計画審議会の皆様からの意見を頂戴しますが、それ以外にも本市内部の会議において意見を聴取しながら計画策定を進めていきます。

今回、皆様へ内容を確認していただく前に以下の図①、②のとおり2つの会議を通して内部から意見を聴取しました。

流れとしましては、本課から後期計画の方向性について案を示し、その内容について本市各部等から意見を聴取し、それを踏まえ、皆様から意見を頂戴するものです。

① 総合計画本部会議

- ・ 8月9日（金）開催
- ・ 本市各部部長等で構成
- ・ 本課から後期計画の方向性について案を示した



② 総合計画専門部会

- ・ 8月22日（火）開催
- ・ 本市各部次長等で構成
- ・ 本部会議で審議された方向性について、専門部会において各部から意見を聴取



③ 総合計画審議会

- ・ 10月11日（金）開催
- ・ 本部会議、専門部会の内容を審議

04

後期計画の方向性について

①本部会議において本課から示した後期計画の方向性内容については以下のとおりです。

- 異常気象への備え
- 子育て支援の充実(福祉給付・公共施設充実ではない支援の充実)
- すべての年代の予防医療の推進、支援(すべての年代が担い手)
- 少子高齢化、定年延長、健康寿命の延伸等に対応した介護予防の推進
- 人材育成(年代を問わない学・産・官連携)
- ゼロカーボンシティ(地球温暖化対策)
- 起業しやすい環境への取り組み
- 賑わいの創出に留まらない、稼ぐ力への創出
- 1300年記念事業後の事業展開(スポーツ・文化芸術の活用)
- デジタル技術の活用(学校・地域・行政)
- 公共施設の縮充
- 行政評価のスリム化

04

後期計画の方向性について

現行計画から
の変更について

- ・基本構想の重点テーマで謳っている「震災の経験をいかしみんなの力がつながるまち」については、後期計画に向けて、その重点化の方向性を検討する必要がある。レジリエンスの向上は今後も必要である。
- ・創建1300年記念事業が終了して、今後の観光において単に賑わいを創出するだけでなく、そこから経済活力を生み出していくことが重要である。
- ・人口減少社会が到来し、「縮充」を進めていかなければならないが、「縮」の方ばかりが注目され、マイナスなイメージも持たれている。「充」を含めた分かりやすいメッセージが必要である。
- ・物価高騰について、燃料費高騰が令和4年度決算に、物価上昇が令和5年度決算に影響してきている。これから賃上げが影響してくると考えており、行政コストはますます高くなってきている。
- ・脱炭素（ゼロカーボン）※1の目標達成のため、行政資源をどの程度投下するか。
- ・インフラについては、直営の部分はデジタルを活用し更なる効率化を図ることが必要である。一方で地域連携、民間連携の推進が必要である。
- ・学校関連だと、コミュニティ・スクール※2で学校運営に地域の思いを反映させる必要があり、部活動についても地域移行へという動きがあるので、地域の関わりについてを示す必要もある。
- ・「土地利用のありかた」について、前期計画の中では大区画圃場整備※3が完了した事や中心市街地活性化、宅地利用増加など変わった部分も多い。都市計画マスタープランと歩調を合わせる必要がある。

※1 脱炭素（ゼロカーボン）…本市では令和4年2月に2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロを目指すゼロカーボンシティを宣言しました。

詳細についてはこちらをご覧ください。<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/kankyo/kurashi/kankyo/kankyo/zerocarbon.html>

※2 コミュニティ・スクール…学校運営に地域の声を活かして、地域と一体となって学校づくりを進める取組です。

詳細についてはこちらをご覧ください。<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/gakko/shise/shisaku/kekaku/komisuku.html>

※3 大区画圃場整備…農地の区画整理、農道の整備、農業用用水路等の整備を総合的に行う取組です。

04

後期計画の方向性について

P2 1 本課で示した後期計画の方向性について、②専門部会において聴取した意見内容については、以下のとおりです。

新たな視点について	・ 今まで表に出てこなかった引きこもり対策や子どものサードプレイス※1などの新たな課題についても、行政だけですべて対応するのは難しく、地域も含めて検討していかなければならない。 ・ 高齢人口の増加は必須で、デジタル・デバイド※2の解消も取り組んでいると思うが、どうしてもデジタルに対応できない人がいるので、そういった人達も取り残さないというメッセージは必要である。 ・ インターネットを利活用できない人（デジタルに対応できない人）を取り残さないというメッセージは、重点テーマの中で謳う必要について検討がいる。 ・ DX※3を推進する際に、デジタルに対応できない人をスタンダードではないと考えることも、将来を見据える上では必要である。 ・ 後期基本計画を策定するに当たって、重点テーマに「重点キーワード」を設け、それぞれ目標設定をしてはどうか。目標設定の評価によって、縮充などのコスト部分の見極めに活用でき、数字で取捨選択が可能になると考える。 ・ 中高年層による地域活力が必要である。中高年層による地域活力の醸成を後期計画の「重点キーワード」として示す必要がある。
------------------	---

※1 子どものサードプレイス…学校や学校以外の場である「子ども第三の居場所」のことをさします。

詳細についてはこちらをご覧ください。<https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child-third-place>

※2 デジタル・デバイド…インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる格差のことを言います。

※3 DX…将来の成長、競争力強化のために、新たなデジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変すること。

本市のICT活用方針はこちらをご覧ください。<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/joho/ictplan.html>

05

審議委員の皆様へお願いしたいこと

10月11日開催第1回総合計画審議会において、各委員から自己紹介及び次の項目に関する意見をお話いただく時間を設けます。大変恐れ入りますが、本資料に目を通していただきますようお願いいたします。

なお、今回の審議会では、個別の施策についてではなく、市全体の方向性や政策レベルでの意見を頂戴できればと存じます。

- (1) 総合計画の基本構想に掲げる将来都市像、重点テーマに対する意見**
- (2) 後期計画に向けて委員各位が考える多賀城市の問題・課題**
- (3) 多賀城市のまちづくりについて期待すること**

06

今後のスケジュール

令和6年度

- 10月11日（金） 令和6年度第1回総合計画審議会 …… 顔合わせ、市長から総合計画審議会会長へ諮問、後期計画に向けての問題・課題の整理、基本構想変更有無の検討vol.1
- 12月 or 1月 令和6年度第2回総合計画審議会 …… 後期計画に向けての問題・課題の整理、基本構想変更有無の検討vol.2
- 3月上旬～中旬 令和6年度第3回総合計画審議会 …… 中間とりまとめ、基本構想変更有無の確定

令和7年度

- 4月～5月 令和7年度第1回総合計画審議会 …… 個別施策及び指標の検討vol.1
 - 7月～8月 令和7年度第2回総合計画審議会 …… 個別施策及び指標の検討vol.2
 - 10月～11月 令和7年度第3回総合計画審議会 …… 個別施策及び指標の検討vol.3
 - 12月 令和7年度第4回総合計画審議会 …… 最終取りまとめ、個別施策及び指標の確定
 - 1月 令和7年度第5回総合計画審議会 …… 後期計画案に対する答申内容の確定
- ※総合計画審議会会長から市長への答申

令和7年3月 多賀城市総合計画後期計画策定

※本スケジュールはあくまで現時点での予定です。今後変更になる可能性がありますことご承知おきください。